

2022年12月26日

「AYA世代女性の卵巣悪性腫瘍患者(境界悪性腫瘍も含む)における妊孕性温存療法の実態調査」

## 1. 研究の対象

新 JOFR に登録されている症例の中で、卵巣腫瘍術後もしくは卵巣腫瘍再発のため妊孕性温存療法を実施した患者。

## 2. 研究目的・方法

目的：

卵巣腫瘍術後患者及び卵巣腫瘍再発患者における妊孕性温存療法の全国実態調査を行い、その有効性と安全性について後方視的に検討する。

方法：

日本がん・生殖医療学会は、2018年にかん・生殖医療患者登録制度である日本がん・生殖医療登録システム (Japan Oncofertility Registry: JOFR) を設立し、2021年には公的妊孕性促進事業の開始に合わせて新 JOFR に発展した。

卵巣腫瘍術後患者及び卵巣腫瘍再発患者に対して妊孕性温存療法を実施した場合も新 JOFR に登録されており、今回は同システムの情報を利用して調査を行う。

また、同システムの情報で不足する分については登録施設に問い合わせる。

研究期間：

2023年1月以降の承認日から2023年12月31日

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：登録施設の実施件数、対象者の患者背景（年齢、身長、体重、結婚歴、収入、学歴、喫煙歴、既往歴）、投薬内容、治療経過、卵巣腫瘍の病理組織型、術式、採卵前の AMH 値、採卵方法、安全性、妊娠の有無

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東 3-1-56 大阪急性期・総合医療センター産科・婦人科 生殖医療センター

研究責任者：医長 久保田哲

電話番号：06-6692-1201 内線：7409